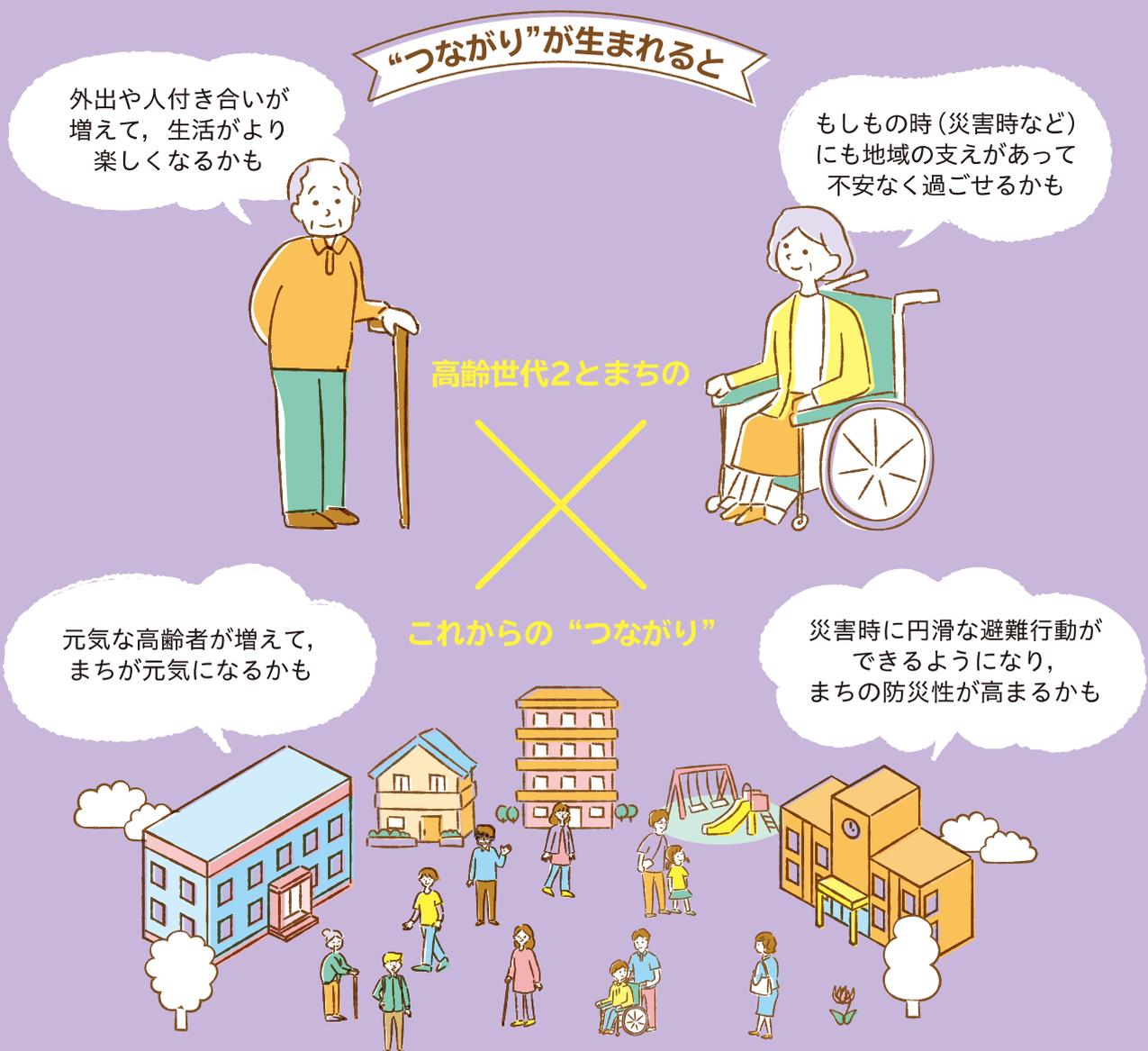


健康面への不安から、外出する機会や 他人との接点が少なくなることもあ るが、豊かな経験や知識を次世代に継 承する世代

心身の健康のために、多くの人と関わる機会を持ってほしい。
もしものときに、本人も家族も安心して過ごせるように、
ご近所の方と交流する機会を増やしてほしい。
まちはそんな風に考えています。



まちはこんなことに取り組みます

心身の健康のために多くの人と関わり、
まちで安心して暮らせるように、
外出のきっかけづくりや災害等の有事の際にも
安心して暮らせる体制をつくりまします。

action

01

住み慣れた地域で安心して暮らすことが
できるようサポートを充実まします

- 外出する機会が減ってしまった高齢者が、近所に出かけたくなるきっかけづくりや、安心して出かけられる環境をつくりまします。
- スマートフォンの使い方教室などを開催し、高齢者もオンラインを活用して家族や地域と交流する機会を増やまします。
- 身体が不自由な人などが、災害時でも安心して避難生活を送るための避難所の備えを充実まします。
- 災害時の情報が伝わりにくい高齢者が安心して避難できるような体制を構築まします。

action

02

地域の身近な場所で、元気に暮らすための
きっかけづくりを行います

- 個食の解消を目指した多世代が集う居場所(みんな食堂)を増やまします。
- 気軽に通える場所で、スポーツや文化活動を通じた交流の機会を増やすなど、地域に安心して暮らせる居場所を増やまします。

action

03

これまでの経験や地域に根付く歴史・文化の知識等を
次の世代に伝える機会をつくりまします

- 自身の長年にわたる経験や地域に根付く歴史・文化についての知識等を次世代に伝える機会をつくりまします。

まちで既に取り組んでいること

『認知症サポーター養成講座』 京都市紫竹包括支援センター

認知症に関する正しい知識と理解を持って、地域や職場などで認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けをする認知症サポーターを養成する講座を開催されています。

『健康ふれあいクラブ』 中川社会福祉協議会・中川民生児童委員協議会

月に1度学区の高齢者を対象にした健康教室が開催されています。コロナの状況を鑑み、リモートで中川学区と介護予防推進センターや大学などをつないで、リモートで脳トレや体操が行われています。





大学生活の中で学問や研究・アルバイト等の経験を重ねる一方、大学周辺の地域や北区について知る機会が少ない人たち

北区の様々な人と交流し、学びや経験を深めてほしい。
大学卒業後も、北区との関わりを持ち続けてほしい。
まちはそんな風に考えています。

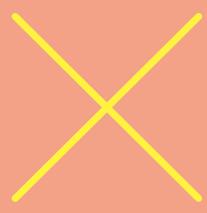
色々な世代や分野の人との交流が生まれ、大学での学びが深まり実践に発展するかも

“つながり”が生まれると

様々な出会いや体験ができ、第二の故郷と思えるようなまちになるかも



大学生とまちの



全国に北区の魅力を発信できる機会が生まれるかも

これからの“つながり”

将来的に北区に住んでくれる人が増えるかも



まちはこんなことに取り組みます

在学中に北区の様々な人と交流し、
北区に愛着を感じられるように、
大学生と共に取り組む内容を充実させるとともに、
北区に住み、働く機会につながる情報を伝えます。

action

01 地域の交流により、大学生にまちへの愛着を感じてもらえる機会をつくります

- 地藏盆や夏祭り、学園祭などのイベントに、大学生と地域がお互いに参加できる機会をつくります。
- SNSや大学の広報などを用いて、地域活動や防災情報に触れる機会をつくります。
- 夏祭りや地域のサロンなどに、サークルによるパフォーマンス等の機会を設けます。
- 企業や地域が提供する課題に大学の授業で取り組むPBL(プロジェクトベースドラーニング)などを通じて、学生、大学、地域、企業、行政等の多様な主体が、互いの課題や資源を共有できる場をつくります。

action

02 学外で、持続可能なまちを目指した取組に参加できる機会をつくります

- 生活に身近な公園や道路等の美化活動を楽しみながら行い、まちを知る機会を増やします。
- 山間地域の持続可能性確保に向けて、北山の緑や賀茂川の水辺環境等の豊かな自然環境を共に守る活動を通じて、環境保全への意識の向上を図る機会をつくります。

action

03 北区の元気な事業所やいきいきと働いている人のライフスタイルなどを紹介する機会をつくります

- 地域企業や農林業など、北区にある身近な職業を体験する仕組みをつくるとともに、いきいきと働いている人のライフスタイルなどを紹介し、北区での就業につなげます。
- シェアハウスやコワーキングスペースの充実など、北区に住み働きやすくするための、環境づくりを進めます。

まちで既に取り組んでいること

『立命館大学 AVA』

立命館大学運動部のグラウンドがある、金閣学区の原谷地域や柘野学区で運動部の学生の皆さんが地域のお祭りの神輿担ぎや地域清掃活動の手伝い、福祉施設への訪問等を通じて、地域の方々と交流を深められています。

『佛教大学 FAST』

地域防災の担い手である消防団の若手団員が不足する中、将来の地域防災人材を育成することを目的に結成された、学生による消防防災サークル。京都市北消防団・楽只分団との防火・防災パトロール等の活動が行われています。



『課題解決型授業 PBL(プロジェクトベースドラーニング)』京都産業大学

学生が企業等から提供された課題を解決することを通じて、実社会で必要となる能力や心構えを身につけることを目的とした授業。“新大宮商店街にある空き家の有効活用”“市バス・地下鉄利用促進”などをテーマに実施されています。



子育てに関する新たな経験から、悩みごとや困りごとが増え、時間的にも余裕を持ちづらい一方で、子育ての楽しさや経験を通じた、新しい視点を持つことも多い人たち

悩みや困りごとを抱え込まず、まちでの様々な機会を通じてリフレッシュしてほしい。子育ての喜びや苦勞を多くの人と分かち合ってもらいたい。まちはそんな風に考えています。



まちはこんなことに取り組みます

子育てする人が悩みを共有でき、
楽しく集えるような場所を増やせるように、
まちに関わりたいと思える環境をつくります。

action

01 子どもを連れて地域活動に参画できる 環境をつくります

- 急な用事への対応や息抜きの機会を確保できるよう、一時預かりなど地域で子育てをサポートする仕組みを充実します。
- 初めての人も地域の様々な行事に参加しやすいよう、既存の地域活動の内容を分かりやすく発信します。
- 地域の会議や活動の時間短縮や子どもが遊べるスペースの設置など、親子でも参加しやすい工夫をします。

action

02 子育てなどの悩みを共有できる機会や、 持続可能なまちについて考える機会をつくります

- 子育てによる不安や悩みを和らげるための交流の機会やネットワークづくりを進めます。
- 大学や自然活動団体等と連携した、子どもが学べる生き物観察会、昆虫採集教室などを開催します。
- 賀茂川や山間部などの豊かな自然を、親子で体験し自然の大切さを実感できる教室やイベント等を実施します。

action

03 自然や歴史・文化資源を 楽しく学べる場をつくります

- 北区に住む文化人などが講師となり、生活文化も含めた“ほんまもん”の文化や芸術を分かりやすく紹介したり体験できる講座を親子向けに開催します。
- 北区での農業体験を通じて自然に触れる機会をつくるとともに、収穫した野菜の販売等を通じて、地産地消を促進します。

まちで既に取り組んでいること

『サロン・ド・ママ』 京都市紫野児童館

お母さんたちが自主的に集まり、クッキングやものづくりなどの活動を通してお母さん同士や子どもたち、地域の人たちと交流する場。意見やアイデアを出し合い様々なことにチャレンジされています。

『紫野小フェス』 紫野小学校区イベント実行委員会

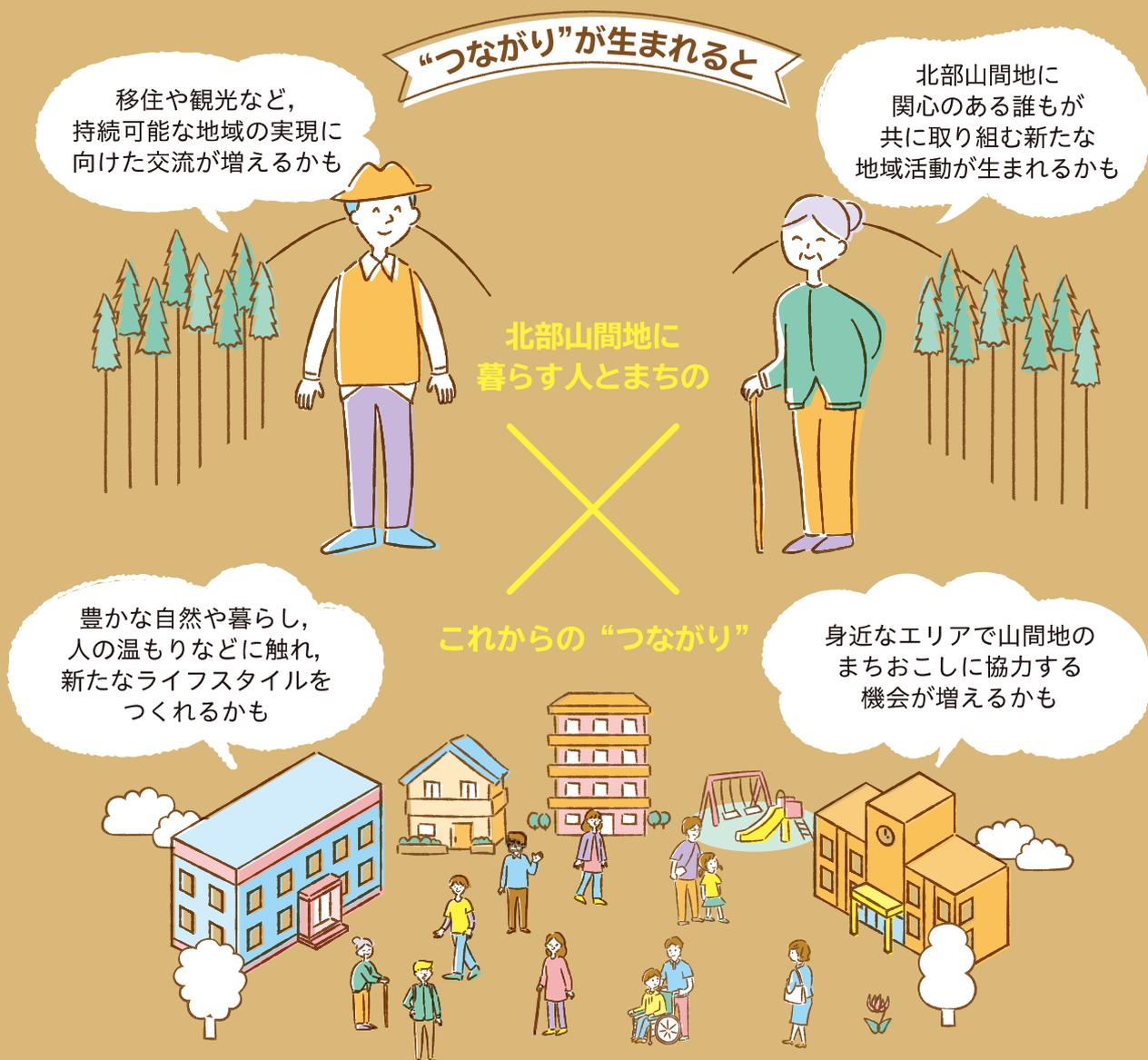
紫野小学校おやじの会等の若手メンバーを中心に、老若男女が気軽に楽しめるハロウィンフェスティバルなどが行われています。令和2年度は、ウィズコロナ・新しい生活様式を踏まえたイベントが開催されました。



北部
山間地に
暮らす人

まちなかから近くにならながら，豊かな自然に囲まれた暮らしを送る一方，急激な人口減少が進みつつある北部山間地に暮らす人たち

自然と調和した文化や暮らしなど，北部山間地の多様な魅力を伝えてほしい。
地域外の人たちも北部山間地に関わる機会をたくさん持ってほしい。
まちはそんな風に考えています。



まちはこんなことに取り組みます

地域内外の交流が円滑に行われるよう
多くの人に北部山間地へ足を運んでもらう
機会を創出し、地域の魅力を発信します。

action

01

地域外の人と関わりながら、
改めて地域の良さを実感してもらえる機会をつくります

- 北部山間地以外に住む人が参加しやすいイベントなどを実施し、関係人口を増やします。
- 地域外に住んでいる家族や友人などに地域の様々な情報を共有し、交流や参加の機会を増やします。

action

02

豊かな自然環境を地域の財産として
大切に守り育てる取組を進めます

- 大学や自然活動団体等と連携するなど、自然と人の関わりや山村の暮らしを学び、体験できるようなイベントを実施します。
- 休校中の学校や地域内にある拠点を活用し、自然体験学習の機会をつくります。

action

03

北部山間地の暮らしの様々な場면을共有し、
地域の持続可能性の確保に向けた取組を進めます

- 地域住民にとって関心が高い、防災やコミュニティ活性化などについて、地域を越えた情報交換の機会をつくります。
- 空き家や休耕田、山林の新たな可能性を検討し、移住者の受け入れを促進します。
- 北部山間地で作ったものなどを広めるため、朝市などを開催します。
- 自然と共存したライフスタイルの実践など北部山間地で実現できる地域の魅力を発信します。

まちで既に取り組んでいること

『雪ヶ畑森の文化祭』
山仕事サークル杉良太郎（すぎよしたろう）

京都大学の学生を中心とした有志で設立されたサークル。雪ヶ畑学区で、枝打ちや間伐などの山仕事のお手伝いをするを通じて、山主の方との交流を深められています。また、毎年11月に開催される“雪ヶ畑森の文化祭”で雪ヶ畑の魅力を地域内外に発信されています。



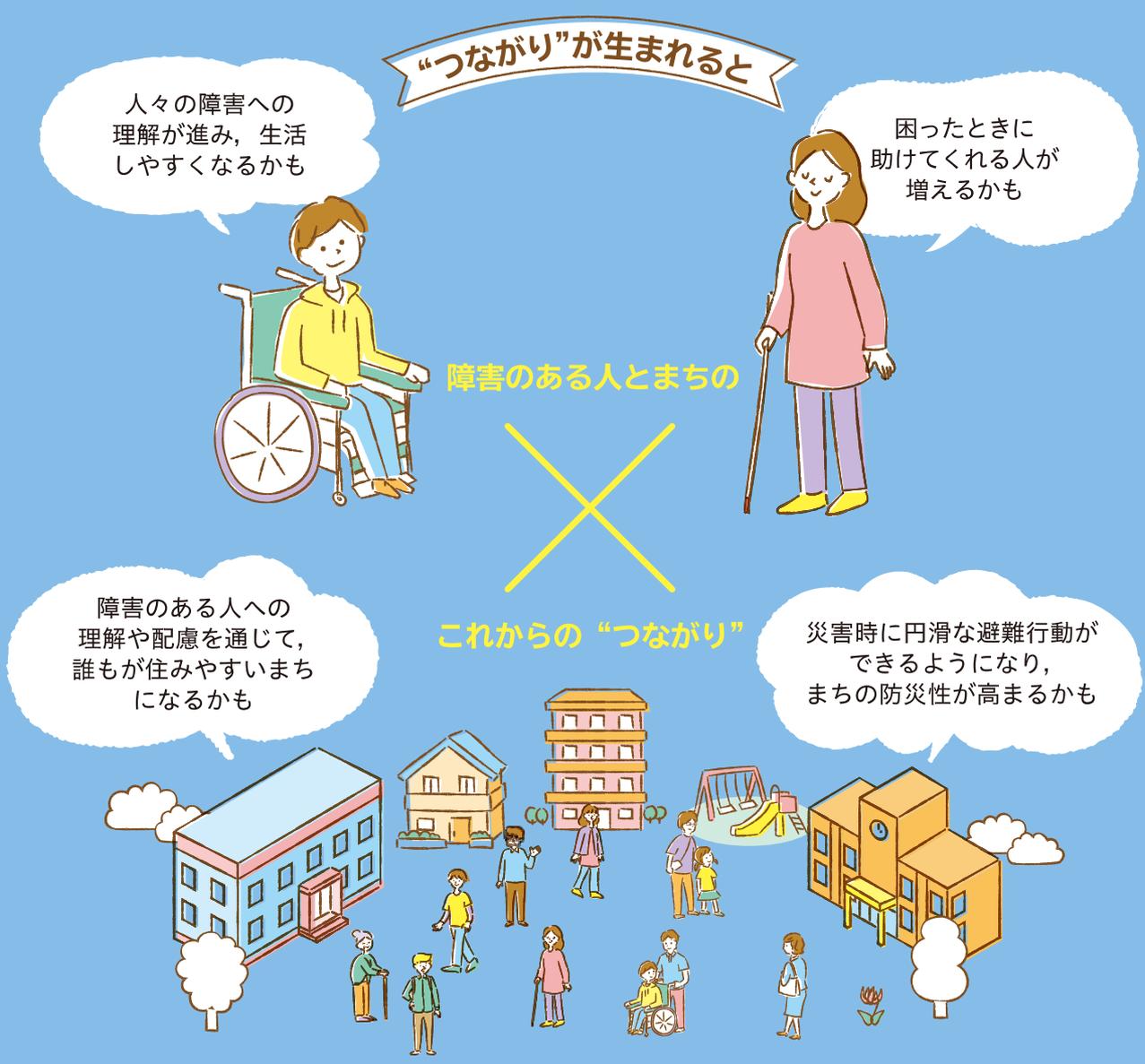
『小野郷スマホ教室』
小野郷学区自治会

休校中の小野郷小学校を使い、「LINEの使い方」、「アプリの取得の仕方」、「ブログの書き方」などをテーマにスマホ教室が開校されました。参加者を中心に、地域の中で互いに操作方法を相談し合うなど、スマホ教室から広がった人と人とのつながりが深まっています。



障害について，人と共有する機会が少なく，苦労を重ねつつも，様々な課題を乗り越えて暮らす人たち

障害があっても，不安なく生活できるよう，ご近所の方との交流の機会を増やしてほしい。生活する上での苦労や様々な経験を多くの人と共有し，支え合いながら暮らしてほしい。まちはそんな風に考えています。



まちはこんなことに取り組みます

障害のある人が抱える生活の中での不安が軽減されるように、様々な機会を通じて交流を生み、地域での対話の機会を増やします。

action

01

災害時に障害に対応した避難ができるように普段から備えを充実します

- 日々の生活の中で、地域に住んでいる障害のある人に気軽に話しかけ、サポートができる雰囲気をつくります。
- 障害のある人が学区の夏祭りや運動会、学園祭等へ参画しやすい環境を整えます。
- 障害のある人の避難行動や避難生活に対応できるよう、障害のある人も参画した防災計画づくりや防災訓練を実施します。
- 障害のある人が多く参加するイベントに、防災ブースを設置します。

action

02

障害のある人への理解を深めながら、誰もが安心して生活できる環境をつくります

- 障害者福祉施設と地域が連携し、施設の活動に地域が参画できる機会を増やします。
- 障害のある人の家族の不安や悩み等を和らげる交流の機会やネットワークづくりを進めます。

action

03

障害や障害のある人を知る機会をつくります

- 京都ライトハウスや障害者福祉施設、京都府立盲学校等の取組や、障害のある人の活躍等を知ってもらう機会を増やします。

まちで既に取り組んでいること

『視覚支援 あいあい教室』 京都ライトハウス

京都ライトハウスは、視覚障害の方を支援する総合福祉施設。その中にある「視覚支援 あいあい教室」は、視覚発達に不安を感じていたり、視覚に障害がある子どもとその保護者のための教室です。視覚に関すること、子どもの発達や子育てに関すること、おもちゃの選び方や遊び方など、保護者の様々な相談に応じ、サポートされています。また、児童発達支援事業(0歳～就学前)・放課後等デイサービス(小学生～高校生)や訪問指導なども行われています。



『放課後等デイサービス そらいろチルドレン』

新大宮商店街に拠点を置き、障害のある子どもたちや、発達に特性のある子どもたちが放課後や夏休みを過ごす場所として運営されています。工作や手づくりおやつ、商店街でのお買い物、ゲストを招いてのアート、体験、お出掛けなど、楽しいイベントも企画されています。

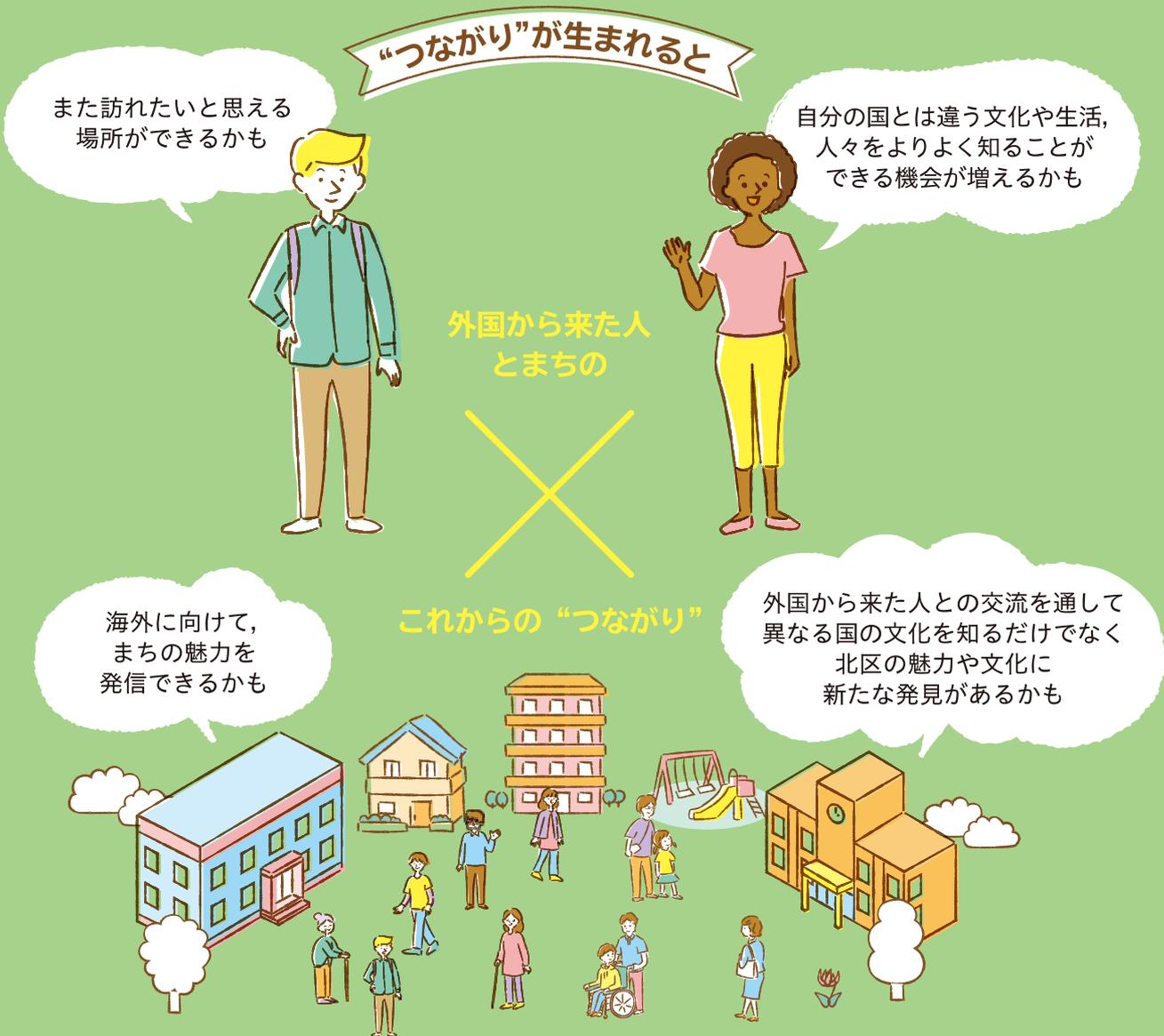




外国から
来た人

観光や仕事，留学などで日本に来訪し， 多様な文化的背景を持ちあわせている が，言葉や文化等の違いから，地域や 人との接点が少ないことで不安もある 人たち

言葉や文化，生活習慣などの様々な違いを楽しんでほしい。
北区での経験を通じて，日本や京都を好きになってほしい。
まちはそんな風に考えています。



まちはこんなことに取り組みます

互いの文化を理解し尊重し合えるように、
イベント等を通じた、
参加や交流を促す工夫をします。

action

01

北区での滞在や暮らしを快適で豊かにするための
ネットワークづくりを進めます

- 地域に住む外国から来た人等が困りごとを気軽に相談できるように、外国語を話せる日本人や日本語が話せる外国人の情報を共有します。
- 外国人同士のネットワークと地域の接点をつくります。
- 外国から来た人に避難場所や災害時の対応を分かりやすく伝えます。

action

02

北区の魅力を感じながら
楽しく過ごしてもらえる取組を進めます

- 大学や地域企業などと連携し、外国から来た人が、地域のお祭やイベントなどへ参加しやすくするための工夫や仕掛けをつくります。

action

03

外国から来た人に北区を知ってもらうだけでなく、
区民が外国の文化にも触れられる機会をつくります

- 大学、日本語学校、地域企業など外国から来た人が通う施設と連携しながら、日本と外国の文化をお互いに紹介するような機会をつくり、異文化交流を促進します。

まちで既に取り組んでいること

『外国人留学生の生活支援』 株式会社フラットエージェンシー

大学卒業後の外国人留学生がスタッフとして採用され、新しく日本に来た留学生の部屋を探すサポートをはじめ、自身の経験に基づき、日本での暮らし方や地域とのコミュニケーションの取り方等の相談やアドバイス等が行われています。



『留学生と地域住民の皆様との国際交流イベント』立命館大学衣笠キャンパスインターナショナルハウス大將軍

留学生と地域の皆さんとの交流イベントを開催。近隣に住む子どもたちによる和太鼓、世界のクイズ、世界のダンス体験など、国際色豊かな企画を通じ、地域コミュニティの国際化や多文化交流を推進されています。この取組をきっかけに、地域のお祭や餅つきにも留学生が参加し、交流が深まっています。

4章

取組を推進するためのリーディングプロジェクト

本計画を推進するためには、ライフステージ等の取組に今まで以上に多くの区民の皆様に関わっていただき、総力を挙げて取り組んでいく必要があります。

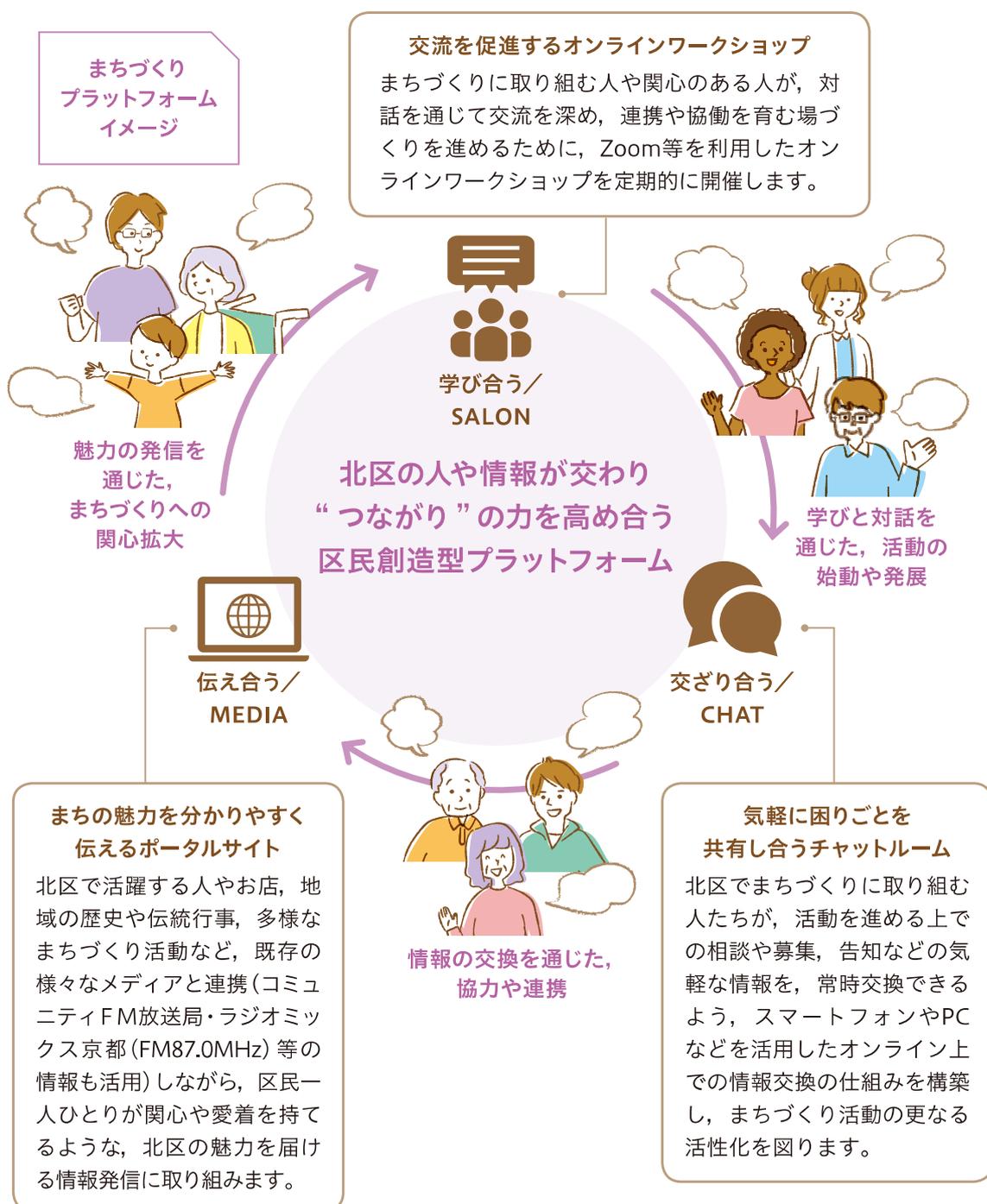
このような体制を更に整えるために、従来

型の地域活動に加え、アフターコロナ社会も考慮して、新たなオンラインネットワーク「北区まちづくりプラットフォーム」を構築します。

それによって、これまで地域活動と関わりを持ちづらかった働き世代や若者世代の方々

1 北区まちづくりプラットフォーム

「交ざり合う／CHAT」、「伝え合う／MEDIA」、「学び合う／SALON」をキーワードに新たなオンラインネットワークを構築し、“つながり”の力を高めます。



を含む多くの区民の皆様にとって、身近で気軽に交流できる場をつくることを目指します。

そこで、様々な団体・個人が互いに活動内容を紹介したり、課題を共有し、学び合う機会を用意し、北区の強みである“つながり”を益々深めていきます。

さらに、このプラットフォームを基盤として、6つの「リーディングプロジェクト」に重点的に取り組み、ライフステージ等ごとの取組アイデアを応援します。

2 6つのリーディングプロジェクト

6つのリーディング事業を通じて、ライフステージ等ごとの取組アイデアを応援します。

リーディングプロジェクト1

船岡山を活かした 魅力スポットの創出

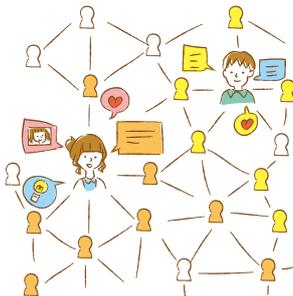
世代や分野を超えて様々な人が船岡山に集結。豊かな自然がもたらすまちのオアシスとしての機能はそのままに、人が集まり、楽しみ、交流する場所に。周辺エリアも含めた魅力を発信します。



リーディングプロジェクト2

地域インフルエンサー の発掘

区内の地域活動、企業情報、商店街、大学など、地域に根ざした情報やコンテンツ等を発信できる人材(インフルエンサー)を発掘し、その分野に応じた情報をSNSで発信します。



リーディングプロジェクト3

北区民まちづくり提案 支援事業 NEXT

区民の「こんなことができたらいいな」を形にする支援をします。新たにつくる「まちづくりプラットフォーム」から生まれたアイデアを実現するためのツールとしても活用します。



リーディングプロジェクト4

スマートフォン教室の 開催

ICTを地域コミュニティに取り入れるため、高齢者向けのスマートフォン講習を実施。それらを通じたつながりづくりを進めます。



リーディングプロジェクト5

北区「WA(わ)のころ」 創生事業 NEXT

区民が北区の“ホンマもん”の伝統文化とつながり、理解を深めるとともに次世代に継承することを目指します。まずは、様々な媒体を通じた情報発信を行います。



リーディングプロジェクト6

【ニコニコ北っ子】 つながるフェスタ NEXT

妊娠中・子育て中のご家庭が、地域とのつながりの中で安心して子育てができるまちを目指します。親子が楽しみながら関わられるコンテンツをオンラインとオフラインの双方で行い、仕事に家事に育児に忙しい方でも参加しやすいイベントにします。



北区民まちづくり会議委員名簿 (50音順, 敬称略)

令和2年度

	氏名	所属
座長	志藤 修史	大谷大学 社会学部長
副座長	中谷 真恵	京都産業大学 法学部教授
副座長	藤松 素子	佛教大学 社会福祉学部教授
副座長	中井 美樹	立命館大学 産業社会学部教授
	高奥 英路	北区地域代表者会議会長 (紫竹自治連合会会長)
	水田 隆一	北区社会福祉協議会会長 (中川社会福祉協議会会長)
	北村 脩	みんなでつくる安心安全なまち 北区推進協議会会長 (衣笠学区社会福祉協議会会長/ 北区交通安全対策協議会副会長)
	白瀧 雅章	北区市政協力委員連絡協議会 世話人代表 (紫野学区市政協力委員連絡協議会会長)
	堺 紀恵子	北保健協議会連合会会長 (紫竹保険協議会会長)
	池田 岩太	北区保育園園長会代表 (上賀茂こども園園長)
	藤井利都子	小学校PTA北上支部理事校 (待鳳小PTA会長)
	西村 由美	中学校PTA北・上支部理事校 (衣笠中学校PTA会長)
	谷口みゆき	北区「おやじ・おふくろの会」 連絡会会長
	滋野 正道	株式会社基地計画取締役役員/ 京都わかもん会議発起人
	國安 紗世	ちょう結び(就労継続支援B型事業所) 管理者/てーげー食堂代表
	石川 裕也	京都北山丸太生産協同組合理事長
	十塚 元信	JA京都市大宮支部長
	寺田 敏紀	西陣R倶楽部事務局次長
	向井 弘美	地域公共政策士
	木村 博美	NPOコミュニティラジオ京都 放送局長
	石本 浩治	京都市地域の空き家相談員
	坂口 聡	放課後等デイサービス そらいろチルドレン代表
	日比野裕加里	京都ライトハウス 就労支援事業所FSトモニー副所長
	平元 俊一	公募委員
	田中 敏雄	公募委員

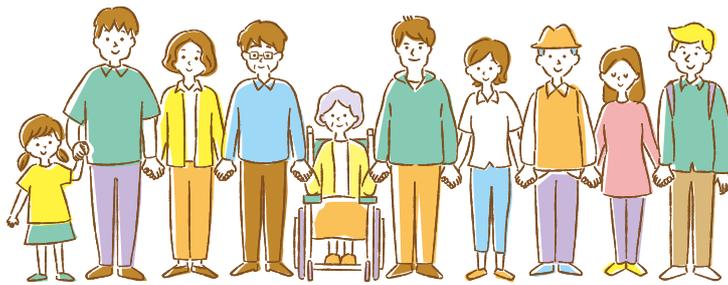
令和元年度

	氏名	所属
座長	志藤 修史	大谷大学 社会学部長
副座長	藤野 敦子	京都産業大学 現代社会学部長
副座長	松岡 千代	佛教大学 保健医療技術学部教授
副座長	河角 直美	立命館大学 文学部准教授
	高奥 英路	北区地域代表者会議会長 (紫竹自治連合会会長)
	水田 隆一	北区社会福祉協議会会長 (中川社会福祉協議会会長)
	北村 脩	みんなでつくる安心安全なまち 北区推進協議会会長 (衣笠学区社会福祉協議会会長/ 北区交通安全対策協議会副会長)
	吉田 久男	北区市政協力委員連絡協議会 世話人代表 (大宮学区市政協力委員連絡協議会会長)
	堺 紀恵子	北保健協議会連合会会長 (紫竹保険協議会会長)
	池田 岩太	北区保育園園長会代表 (上賀茂こども園園長)
	光岡 駿介	小学校PTA北上支部理事 (柊野小PTA)
	住山 洋	小学校PTA北下支部理事 (衣笠小PTA)
	西村 由美	中学校PTA北上支部副理事 (衣笠中PTA)
	谷口みゆき	北区「おやじ・おふくろの会」 連絡会幹事
	内藤 郁子	特定非営利活動法人 京都景観フォーラム理事長
	石川 裕也	京都北山丸太生産協同組合理事長
	十塚 元信	JA京都市大宮支部長
	寺田 敏紀	西陣R倶楽部事務局次長
	吉田 光一	京都市地域の空き家相談員
	向井 弘美	地域公共政策士
	滋野 正道	株式会社基地計画取締役役員/ 京都わかもん会議発起人
	國安 紗世	てーげー食堂代表
	木村 博美	NPOコミュニティラジオ京都 放送局長
	平元 俊一	公募委員
	坂口 聡	公募委員

計画策定の経過

平成30年	2月	平成29年度第2回北区民まちづくり会議
	9月	平成30年度第1回北区民まちづくり会議
	10月	北区民まちづくり会議 第1回学習会
	11月	北区民まちづくり会議 第2回学習会
	12月	北区民まちづくり会議 第3回学習会
令和元年	1月	北区民まちづくり会議 第4回学習会
	3月	平成30年度第2回北区民まちづくり会議
	5月	平成31年度第1回北区民まちづくり会議
	6月	北区民まちづくり会議「人口減少部会」
		北区民まちづくり会議「防災部会」
	8月	北区民まちづくり会議「高齢化部会」
	9月	北区民まちづくり会議「文化・観光部会」
	12月	北区民まちづくり会議「共同部会1」
北区民まちづくり会議「共同部会2」		

令和2年	3月	令和元年度第2回北区民まちづくり会議
	11月	令和2年度第1回北区民まちづくり会議 座長・副座長会議
		令和2年度 第1回北区民まちづくり会議
令和3年	3月	令和2年度 第2回北区民まちづくり会議
	4月	パブリックコメント(～5月)



北区基本計画

